

2021年度自己評価表

鹿谷保育園

A:よくできている B:ほぼできている C:努力が必要

評価日 2022年2月28日

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の 共通理解と 保育課程等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したのになっており、全職員が理解し、実践しているか。	B	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底している。
	2	保育課程は基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一にして作成されているか。	A	前年度の見直しし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取る努力をし、指導計画に反映させているか。	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子どもの場合などは気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感ももてるようにしている。
【地域・園に応じた独自の取り組み】 園内に保育方針・保育目標・職員の使命を掲示し意識を高めるようにしている。				
子どもの発達や 状況に応じた 適切な援助の実施	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。	A	入園児に個人面談を実施し、担任が把握する。重要事項は職員で共用する。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分にしているか。	A	園児状況に応じ、1週間程度の慣らし保育を行う。保護者との情報共有・交換のための連絡ノートでコミュニケーションを図っている。
	6	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。	B	クラス担任が中心となり、作成し、年に数回振り返り・反省を元に見直しを行っている。保護者の意向も可能な限り反映している。
【地域・園に応じた独自の取り組み】 入園前、個別に子どもの様子を聞き取る等して受入準備する。慣らし保育は子どもの様子に応じて慣れず負担になっている場合は保護者と相談しゆっくりと進めていく。				
快適な施設環境の確保	7	子どもが快適に過ごせるような環境の配慮がなされているか。	A	各部屋に温度計を設置し、チェックをする。毎日清掃・消毒をおこない、清潔に保つようになっている。
	8	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育などを取り入れている。
【地域・園に応じた独自の取り組み】 職員が当番製で清掃を行い、清潔を保つようになっている。換気をこまめにし空気の入れ替えを行う。快適な環境になるよう随時話し合いながら設定し、その時期に適した空間を作るように努めている。				
一人一人の子どもに 個別に対応する努力	9	子ども一人一人の状況におうじた保育目標を設定し、それに合わせた個人指導計画を作成しているか。	A	0～2歳児は一人ひとりの状況に応じた個人別の月案を作成している。
	10	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。	A	成長発達記録・観察記録票等、必要書類に記録をし、職員で情報共有をしている。
【地域・園に応じた独自の取り組み】 入園時、進級時には全体会議にて園児一人ひとりについての発達状況等を職員間で周知している。また園児引継ぎ資料を使用して、重要な申し送り事項もしっかり伝える。				
保育上、特に配慮を要する 子どもへの取り組み	11	特に配慮を要する子どもの受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか。	B	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容を共有をしている。
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。	A	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧に行っている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。職員で研修をしている。
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていないか。	A	アレルギー対応マニュアルを配備し、職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境を整え、わかるよう対応をしている。
【地域・園に応じた独自の取り組み】 配慮を要する園児については毎月の各クラス会議で対応を話し合い、今後の対応について話し合っている。				
苦情解決体制	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えかけやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか。	B	園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけでなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望は連絡帳や行事のアンケートでも伝えることが出来る。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 懇談会・個人面談・行事後の連絡帳にて保護者の要望を聞く機会を設けている。保護者からの意見・要望は、早急に解決している。			

2021年度自己評価表

鹿谷保育園

評価日 2022年2月28日

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育内容(あそび)	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができて いるか。	B	年齢や発達に応じたおもちゃをそろえている。自由遊びの時間はコーナー 保育が出来るよう工夫している。
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮してい るか。	A	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。
	17	動植物の飼育や栽培・園活動など、自然に触 れたり地域や社会に関わる体験が取り入れら れているか。	A	野菜・花の栽培等をしている。
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動か すなどの体験を通して、自分の気持ちを表現で けるように配慮されているか。	A	体力測定、絵描き歌、文字や数字に興味をもてるテキスト等を準備して いる。 まだそれを毎日の保育に取り入れられている。
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との 関係が育つよう配慮しているか。	A	朝・夕の合同保育の時間だけではなく、異年齢保育をおこなっている。園 児同士の関わりだけではなく、職員が仲立ちをしながら会話や関わりを 持って保育している。
	[地域・園に応じた独自の取り組み] 各部屋ごとに子どもが自由に取り出せるよう環境設定をしている。近隣を散歩することで挨拶や言葉かけの交流している。 行事の際は、自由に参観していただける活動を継続して展開している。			
保育内容(生活)	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。	A	個々の食事量に配慮しながら、完食の喜びを味わえるような調理方法や 配膳方法を工夫している。職員も一緒に食べながら食材についての話を したりと楽しい雰囲気の中で食事が出来るように声をかけている。
	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか。	A	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや 郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったもの を使用している。
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調 理の工夫に活かしているか。	A	給食職員は子どもの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立 作成に反映させている。繰り返しメニュー等にするにより、切り方、味 付けの工夫を改善できる。
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況の応 じて対応しているか。	A	乳児は午睡観察記録票を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長 中児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況で対応してい る。室温や採光の調節をし、心地良い眠りにつけるよう配慮する。
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対 応しているか。	B	各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。トイレがリラク クスしていけるよう環境面を工夫している。
[地域・園に応じた独自の取り組み] 職員も園児と一緒に食事をすることで食事のマナーなど食育に活かしている。各年齢に応じた食育を積極的に行なっている。 年長中児は午睡を減らしていくが、行事等で疲れている時は身体を休める等柔軟に対応している。				
健康管理	25	子どもの健康管理は、適切に実施しているか。	A	健康診断票に、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等 については全職員で情報共有して対応している。
	26	感染者等への対応に関するマニュアルがあり、 保護者にも徹底しているか。	B	感染マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のしおりに記載 している。
[地域・園に応じた独自の取り組み] 3歳児～5歳児まで食後の歯磨き指導を行なっている。感染症が発生した際は玄関掲示板に病名・留意点を掲示し、情報提供している。 玄関前にはアルコール消毒液を設置し感染予防している。				
衛生管理	27	衛生管理が適切に行なわれているか。	A	保育室等・トイレ・厨房を毎日清掃し、衛生管理表を用いて管理している。
	[地域・園に応じた独自の取り組み] 職員間で各所清掃を毎日行なっている。			
安全管理	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災 害に備えた安全対策が実施されているか。	A	毎月2回の避難訓練を通し、職員間でも常に迅速に対応できるよう話し 合っている。職員が救急研修を受講している。緊急掲示板で保護者への 連絡がスムーズにできるよう配慮している。
	29	事故やけがの発生時及び事故後の対応体制 が確立しているか。	A	事故報告書を作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。緊急対 応機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようにしている。
	30	外部からの侵入に対する対応策が整備されて いるか。	B	玄関では、来客等名前・顔確認している。警報ベルがある。 不審者対応訓練を年1回おこなっている。
[地域・園に応じた独自の取り組み] けがをした場合、必ず施設長に報告しけがの確認、その後の処置等指示・確認をしている。保護者には小さなけがでも直接謝罪し状況説 明等をする。[場合によっては施設長も対応する]				

2021年度自己評価表

鹿谷保育園

評価日 2022年2月28日

項目	番号	内容	評価	実施していること
人権の尊重	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	B	否定後を使わないよう職員間で話し合ったり、研修などで言葉づかいを振り返ったりしている。子どもの名前を呼び捨てにしない。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	B	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については職員が採用時に説明を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて了承をいただいている。
	34	性差への先入観による役割分業意識の植え付けがないよう配慮しているか。	B	発表会での役決めなどは子どもたちと話し合っている。父の日、母の日は感謝の日とし、父・母で分けることはしない。
[地域・園に応じた独自の取り組み] 定期的に言葉づかいについての話し合いをし、振り返りをし改めていく。遊び込める空間作りをおこなっている。 守秘義務、個人情報取り扱いについて定期的に確認をしている。				
保護者との交流・連携	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等をおこない、情報共有や相談対応をしている。	B	送迎時に様子を伝えるだけでなく、必要に応じて個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
	[地域・園に応じた独自の取り組み] 担任が不在の場合でも他の職員が伝達できるように申し送りをしている。相談に関しては随時受け付けや場所や時間に配慮しながら対応している。			
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	A	育児相談に対応している。夏祭り・運動会・クリスマス会等は園を開放し、地域住民の方も気軽に参加できるようにしている。
	[地域・園に応じた独自の取り組み] 園門扉に園便りが等を掲示するとともに、問い合わせに関しては傾聴丁寧に対応している。			
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	保小接続交流をしており、地域のイベントやお祭りに参加している。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようにしている。
	38	利用者希望の問い合わせや見学に対応しているか。	A	不定期に見学日程を設け、対応している。また都合がつかない方には個々の希望日に対応している。メールでの問い合わせも可能としている。
	[地域・園に応じた独自の取り組み] 近隣の老人施設との交流を継続している。行事等を土曜日にしたことで、家族での参加が増えより細やかな対応ができる。			
実習生・ボランティアの受け入れ	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切におこなっているか。	B	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項をしっかりと伝え、参加してもらっている。
	[地域・園に応じた独自の取り組み] 中学校の家庭科の保育の授業で中学校の生徒を受け入れている。 職場体験の場としても受け入れをし好評である。			
職場の人材育成	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みをおこなっているか。	A	「保育園」の理念や方針が伝わるように説明している。また採用後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員の研修体制が確立しているか。	B	様々な研修や外部研修を利用し、一人一人に合った育成計画に沿って受講している。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、内部研修にて他の職員と共有している。
	[地域・園に応じた独自の取り組み] 園の理念・方針に沿った育成計画を活用して育成をおこなっている。資質の向上に向けた自己目標を設定している。健康管理・守秘義務・時間管理等の一般基本事項、ケアや指導に関する事項に対して実行できたかどうかは施設長と面談をする仕組みになっている。			
職員の議事術の向上	42	保育士等が保育の業務の計画及び記録を通して自らの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけではなく、クラスや部屋の会議などを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価をおこなっているか。	B	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックする。課題を見つけ、改善策など意見交換している。また客観的な振り返りもおこなっている。
	[地域・園に応じた独自の取り組み] 研修を受けた職員が研修報告書を作成し情報共有したり内部研修に発展させる。			
経営管理	44	事業所として守るべき、法・規範・論理等を周知し実行しているか。	A	職員採用時には、誓約書を取り、個人情報の遵守、論理について話をしている。
	[地域・園に応じた独自の取り組み] ・毎月の会議にて繰り返し確認することになっている。			